

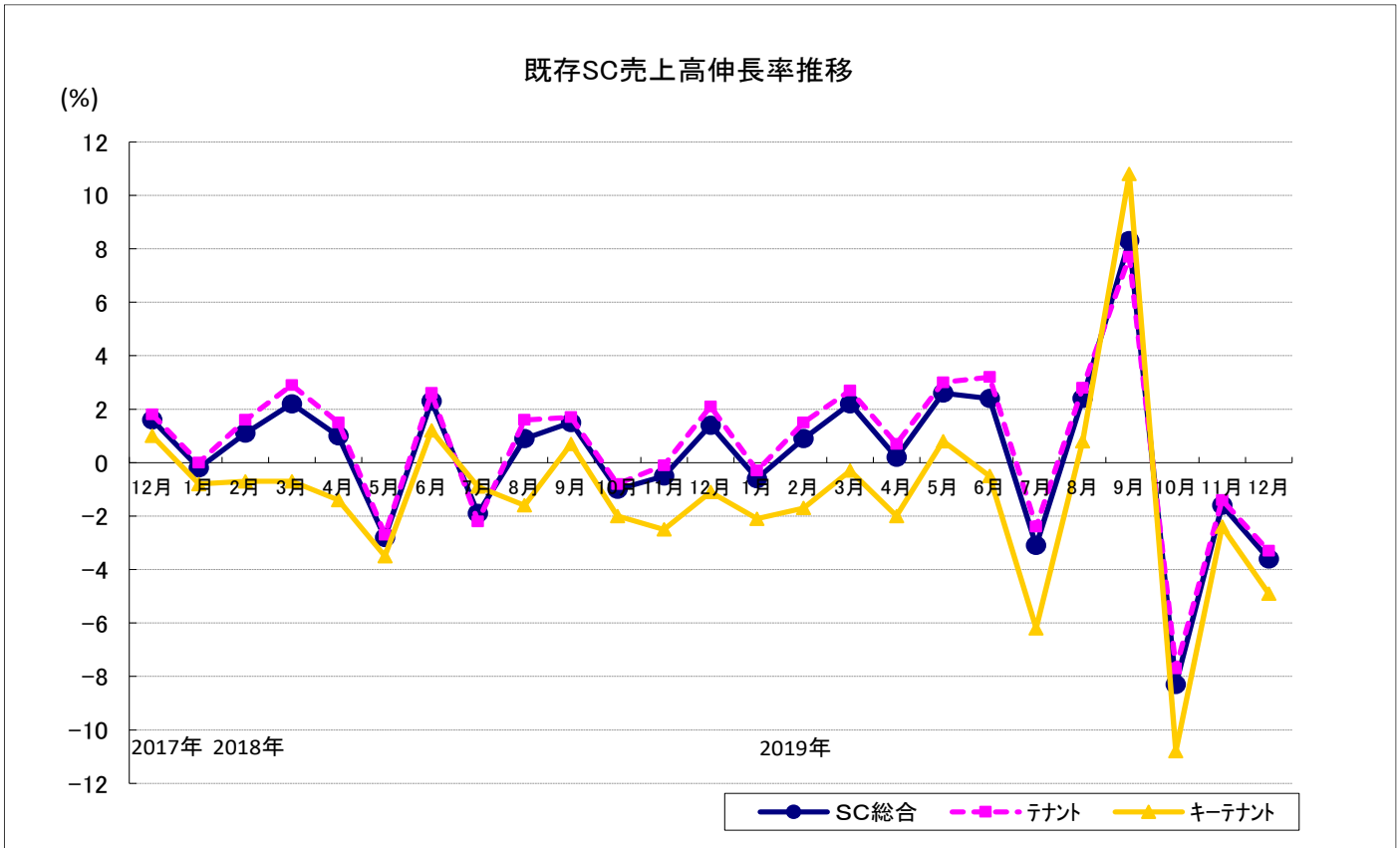
報道関係各位

SC販売統計調査報告2019年12月 既存SC前年同月比 : ▲3.6%
休日日数減、暖冬による冬物不振などにより、3ヵ月連続マイナス

< 2019年12月度・全体概況 >

- 12月度の既存SC売上高は、前年より休日日数が2日少なかったこと(祝日、土曜日各1日減)や、全国的に平年より気温が高めに推移したことにより冬物商品の売れ行きが鈍かったことなどが響き、総合で前年同月比▲3.6%となり、前月(▲1.6%)よりマイナス幅が広がった。また、クリスマス時期の曜日回りが昨年と比べてよくなかったことの影響、消費税増税に伴う買い控えが影響しているとの声もあった。
- 立地別・構成別をみると、テナント、キーテナントともに全ての立地で前年を下回った。特に、百貨店やGMSの売上を大きく落とした施設が多く、中都市中心地域のキーテナント(▲5.5%)、周辺地域のキーテナント(▲5.0%)のマイナス幅が大きかった。
- 立地別・地域別をみると、すべての地域で前年を下回った。特に、回答のあった全SCで前年比マイナスとなった四国は▲6.8%と大幅減となった。
- 都市規模別・地域別でも、大都市、その他の地域ともにすべてマイナスとなった。大都市では川崎市(▲8.1%)が前年リニューアルの反動減などの影響により落ち込みが目立った。
- 業種毎の販売動向をみると、暖冬の影響によりコートやブーツなどの冬物商品が苦戦し、衣料品や靴などを不振と回答するSCが11月よりも増加した。

既存SC売上高伸長率推移



以上

この件に関するお問合わせは 情報企画部: 金田・菰田・高橋
TEL: 03-5615-8524

※お手数をおかけ致しますが、掲載紙・誌をお送りくださいますようお願い申し上げます。掲載部分をファクシミリにてお送りいただいても結構です。



一般社団法人 日本ショッピングセンター協会

広報担当: 高橋・村松・大内・浅田
Tel. 03-5615-8524 / Fax 03-5615-8539
Mail. pr@jcsc.or.jp